



後方支援活動の近況報告について

【発表の要旨】

継続実施している後方支援活動の新たな支援等についてお知らせします。

【発表の内容】

1 福島県相馬市への物資支援

(1) 経緯

平成 24 年 6 月 21 日付けの文書により、福島県相馬市立谷秀清市長から、相馬市民へ配給するためのコメについて支援要請がありました。原子力発電所の事故に伴う放射性セシウム問題により、平成 24 年は一部の地域で稲の作付を行わず除染作業に専念するため、自家消費用のコメが不足するとのことでした。

市では上記要請を受け、直ちに同市への支援を下記のとおり決定しました。

(2) 支援内容

- ① 支援物資 コメ（玄米） 約 1 トン（30 kg×34 袋）
- ② 費用 約 30 万円
- ③ 配達日 平成 24 年 6 月 27 日（水） [6 月 29 日（金）到着予定]

2 沿岸被災企業の事業再開

(1) 再開する事業所

株式会社アイアン車体（佐藤 忠代表取締役）

(2) 経過等

- ・東日本大震災により釜石市片岸町にあった工場がすべて流出
- ・平成 23 年 4 月 18 日事業再開のための用地を求めて来庁
- ・いくつかの候補地を巡り、平成 23 年 10 月、旧定信工業跡地に工場用地を決定
- ・平成 23 年 11 月に資金の目途がつき、同年 12 月から建設工事がスタート
- ・平成 24 年 7 月 1 日本格稼働
- ・本市での沿岸被災企業の本格的再開企業第 1 号

(3) 事業所の概要

創 立	昭和 57 年 8 月 1 日（平成 4 年 10 月 30 日、個人事業所から法人化）
資 本 金	2,000 万円
年 商	1 億 4,000 万円
事 業 所	本社・工場＝遠野市青笹町糠前 5-35-1（旧所在地＝釜石市片岸町 3-5-3） 事務所約 500 m ² 、整備工場 1,155 m ² 釜石サービスセンター＝釜石市鶴住居町
社 員 数 (H24.6 現在)	14 名（うち、遠野市内採用者 3 名） ※5 年以内を目途に 20 名程度まで拡大予定
事 業 内 容	・自動車板金塗装 ・一般整備、点検、車検 ・24 時間レッカー・ロードサービス

3 三陸文化復興プロジェクト

(1) 献本活動について

本年4月から献本の受入れを一時中断し、預かった本の整理、配本を優先して取り組んでいます。

今後の取組みとしては、8月に陸前高田市立図書館にプレハブ図書室（約50坪）が北海道ブックシェアリングの支援により整備される予定で、これに合わせて配本する予定となっています。

【活動状況】

献本者数	約 4,810人	
献本冊数	27万 7,190冊	
登録冊数	16万 3,920冊	
配本冊数	1万 2,330冊	
配本先	釜石市	①白山小学校、②平田小学校、③小佐野小学校、④甲子小学校、⑤鶉住居小学校、⑥栗林小学校、⑦釜石中学校、⑧甲子中学校、⑨唐丹中学校、⑩釜石東中学校
	大船渡市	①夢商店街
	陸前高田市	①気仙中学校、②陸前高田市立図書館、③シャンティモビリア仮設図書館、④陸前高田古文書研究会
	大槌町	①安渡小学校、②シャンティ旧金沢小学校仮設図書館
	野田村	①野田村立図書館
	普代村	①三陸鉄道普代駅
	田野畑村	①三陸鉄道田野畑駅
	遠野市内	①仮設住宅サポートセンター、②元気わらすっこセンター
合計	小学校8校、中学校5校、公立図書館2施設、その他7箇所、計22箇所	
ボランティア参加人数	3,601人	①遠野中学校、②神奈川大学、③獨協大学、④法政大学、⑤遠野まごころネット、⑥静岡県、⑦東京FM、⑧東京海上日動火災保険株式会社、⑨立命館大学、⑩かながわ災害ボランティア、⑪上郷中学校、⑫大日本印刷、⑬札幌中央屯田中学校

(2) 文化財レスキューについて

大槌町立図書館にあった町議会資料及び新聞スクラップを修復中で、本年度の終了を見込んでいます。現在までの進捗状況は次のとおりです。

- ・ 町議会資料 158冊中88冊洗浄済み（洗浄後、破れたところを修復し終了）
- ・ 新聞スクラップ 226冊中 193冊終了

担当	総務部沿岸被災地後方支援室（小向） 産業振興部商工観光課（菊池正） 電話 0198-62-2111（内線 380・6210） 遠野文化研究センター調査研究課（小笠原） 電話 0198-60-2800（内線 206）
----	---